

格差と戦争 -生存の意味を問う-

生きつづけること、ただそれ自体が困難になっています。

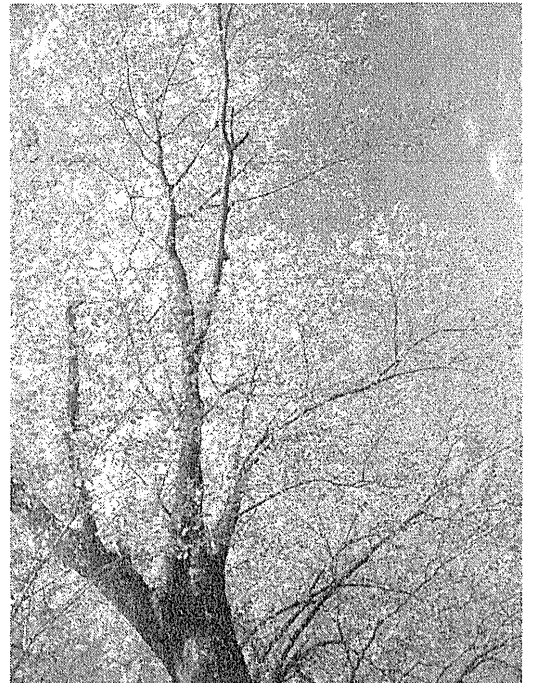
今回、海外での紛争地域において非暴力直接介入という手法で紛争解決を目指している非暴力平和隊の方と、日本国内において人の生存の問題に直接関わっているフリーター全般労組からゲストをお招きします。労働の問題と、戦争・平和の問題はこれまでなかなか同じ場で語られることがありませんでしたが、生存の側面から2つの問題のつながりを見ることができると考えます。この企画では、海外、日本での生存の問題に直面している現場の声を聞きます。また、生きつづけることが困難になる原因は何なのか、それへの対応策はあるのかなどを考えていきたいと思えます。

●ゲスト●

- ・徳留由美(非暴力平和隊元フィリピン、スリランカフィールドワーカー)
- ・大畑豊(非暴力平和隊・日本共同代表)
- ・鈴木剛(フリーター全般労組副委員長)

●プログラム●

- 14:30 開場
- 14:50 第一部「紛争地での平和活動」
徳留由美、大畑豊(非暴力平和隊・日本)
- 15:55 第二部「労働、生存問題の動向」
鈴木剛(フリーター全般労働組合)



日時: 2009年4月11日(土)

会場: 仙台市市民活動サポートセンター 研修室5

参加費: 500円

主催: ダテナメーデー(仙台インディーズ系メーデー)実行委員会

sendai2009mayday@yahoo.co.jp

090-3642-4373(高橋、18時以降)

<http://blogs.yahoo.co.jp/sendai2009mayday>